

令和5年度第五回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和6年2月19日（月） 13:30～14:00
- 2 場 所 役場第二庁舎
- 3 出席者
(出席委員) 高橋委員長、和田副委員長、川村委員、下段委員、石田委員、
松岡委員、袴田委員、小貫委員、今堀委員
(町及び事務局)
【事務局】 乗木企画部参与、高田事業推進課長
事業推進課 米内主幹、中鉢主任、有澤主事
- 4 傍聴者 4名
- 5 会議概要
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
 - ・委員長挨拶
 - ・議 事
事務局より「①今年度の取りまとめについて」を資料に基づき説明した。
 - ・質 疑
委 員：3点ある。1点目は、今後のスケジュールを教えて欲しい。2点目は、報告書の中の検討事項に事業手法があるが、そこには触れないのか。3点目は、現庁舎の耐震化について、いろいろ話を聞くと、現庁舎を耐震化しようとするとな面的に行わなければならない、10億円くらいかかるのではないかとのことだが、本当に3億円で足りるのか。その3億円の根拠としては、平成25年の耐震診断時に算出した金額を参考にしているのか。

事務局：次年度の考え方について、来年度予算の議決前で確定したことは言えないが、引き続き検討委員会を続けていきたいと考えています。今回、検討委員会の整備方針として、新しい庁舎の建設まではもう少し時間をかけることや、その間の現庁舎はそのままにしておけないので耐震補強をすすめていく内容で整理してもらいましたので、それを受けて町としては、耐震化するにあたり必要な検討や調査を今後していく形になると考えています。したがって、検討経過や調査内容を検討委員会の中でお示ししていきたいというのと、費用感や耐震化の手法など、今後いろいろと検討すべきことが出てくると思いますので、そういったことを検討委員会で意見をもらえたらと考えています。その他にも、先ほどの手法にも繋がるとは思います。事業手法や建設場所、最終的な目標である新庁舎建設に向けてはまだ議論はしきれていない部分と、いままでもまちづくりの観点からいろいろご意見をいただいて検討委

員会をすすめさせてもらっていますので、その部分や検討委員会のあり方も含めた整理を次年度していきたいと考えています。費用につきまして、前回は参考の概算費用として、耐震補強のみ行った場合がおよそ3億円として提示しました。ただし、必ずしもこれで済むのかという調査しないとわからない部分もあり、もしかしたら耐震補強にあたって改修や補修が追加で必要になるかもしれません。なお、3億円という金額は、平成25年役場庁舎耐震診断業務委託の報告書の中で、参考の概算費用ということで出ていたものに、現在の物価上昇見込をかけて算出しています。耐震化の手法につきましては、現在はいろいろな手法がありますので、効率的な手法で実施したいと考えております。

委員長：ほかにありますか。

本日は、今年度の検討内容のとりまとめについて、事務局より説明がありました。

これまで皆さまと議論した内容を報告書に整理しましたが、庁舎整備の方向性については、みなさんにご了承いただけたと思っております。

この「報告書」は、町の庁舎の方向性に関わる内容でもありますので、この後、私の方で町長に報告したいと考えております。

今後の本委員会のあり方になりますが、庁舎建設の目指すべき方針は「新築」を基本としており、これまでも庁舎建設にむけては、まちづくりの観点からも、中心市街地の賑わいに資する「庁舎」となるよう、議論が行われておりましたので、引き続き、委員の皆様のご協力をいただきながら、検討委員会のあり方も含めた議論をしていければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

・その他

事務局より、令和5年度の委員会は、年度内に開催の必要のある案件がなければ、本日で終了となる旨、連絡した。

以上